



結

yui

2018. 7. 21 No.82

発行「憲法9条の会つくば」
〒305-0005
つくば市天久保 1-10-12 1-401
TEL 080-5888-7824
Fax 029-856-2286



<http://peace.arrow.jp/tsukuba2/>

ウソだらけの政治を変え 9条改憲 NO! 政治の腐敗と人権侵害を



安倍政権の退陣を要求する6.10国会

6.3 朝日の全面広告を見て、日頃安倍政権の卑怯さに頭にきている夫も初参加することになり、有楽町駅から徒歩で国会前に向かいました。雨脚が激しくなるにつれ、人もどんどんと増していきました。ついには歩道も四重の人の列となり歩道から前庭に溢れて前庭も人の波。働き盛りの人々、初老の紳士淑女さん、団塊の世代等、皆さん激しい雨や傘からの雨だれに濡れながらスピーチに聴き入り、寒さを吹き飛ばすように大声で「アベ政権は今すぐ退陣！」と叫びました。皆さん真剣で感動的な光景でした。

野党国会議員や市民の代表の「民主主義の役割は腐敗した権力者を叩き切ること」「アジアの平和の脅威は戦争する国に邁進する安倍首相そのものだ」「平気でウソをつき政権の座にしがみ付いている安倍政権早く打倒」「麻生財務相は辞めるべき！セクハラのない社会を一緒につくりましょう」「高プロは労働基準を破壊する。同じ苦しみを背負う人が二度と出ないように（遺族佐戸さん）」「沖縄新基地建設阻止するうえで一番の力は安倍政権を倒すこと」「被爆者は憲法9条の改悪を許しません。9条を輝かせ命と平和を守りましょう」等のアピールがありました。

カッパを着て手押し車を押しながら帰って行くご高齢の女性の脇には傘をさしかけ寄り添ってゆっくり歩く息子さんらしき男性がおられました。

「諦めませんよね」と話してくれた頼もしい赤旗の記者さんは若い澆刺とした青年でした。“つくば市の3人の孫がいる女性「次の世代のために行動しています。民主主義と平和を守るまっとうな政治をしてほしい。そのために、安倍政権を終わらせたい」と話しました”ときれいにまとめて記事に記載してくれました。ドシャ降りの雨の中、参加者2万7千人。輪は広がっているのを実感することが出来ました。

(賛同人 S.M.)

安倍9条改憲 NO! 3000万署名 目標数達成!

7月15日現在目標3000を超え3144筆に!
引き続き9月30日の第4次集約に向け、署名数を積み上げましょう。

目指せ4000筆!

賛同人の皆様のご協力をお願いします。

憲法9条の会つくば設立13周年記念

「映画上映とうたごえのつどい」

日時 2018年10月13日(土)

13:30~16:30

場所 つくばイノベーションプラザ

大会議室





米朝首脳会談

非核・平和の北東アジアをめざして

川田忠明（日本平和委員会常任理事）

6月12日の米朝首脳会談はなによりも、武力衝突の危険、核戦争にまでエスカレートしかねない危機を回避したという点で、大きな意義がありました。様々な論評がありますが、この最も大事な点を見失ってはならないと思います。

今回の首脳会談は、軍事的威嚇、圧力が功を奏したものではありません。新たな平和的アプローチが解決の糸口をひらいたのです。李明博（イミョンバク）政権で外交通商相をつとめた柳明桓（ユミョンファン）氏は、こう述べています。「過去20年以上、北朝鮮政策は失敗の連続だった。（中略）経済の改革・開放のメリットを実感させ、核をあきらめさせて国際社会への復帰を促すというのは、これまでにない全く新しい手法だ」（「朝日新聞」7月3日）

今後も紆余曲折があるでしょう。しかし「平和と繁栄」の米朝関係という、この道をすすむならば、非核・平和の北東アジアの実現、さらにアジア全体と世界を変える新しい可能性もひらかれるでしょう。

非核化には時間も平和も必要

今後の進展にとって重要なことは、非核化と平和体制の確立を一体にすすめることです。

北朝鮮の最大の目的は、体制の維持と安全の保障です。核・ミサイル開発は、そのための手段でした。もちろん、その手段が間違っているのですが、「目的」が達成されれば、「手段」不要になります。これは金正恩氏自身が3月に、韓国特使に語ったことでもあります。

非核化には時間も平和も必要です。

例えば南アフリカ共和国は、90年代に核兵器を秘密裏に6発製造しました。米ソの代理戦争ともいわれた隣国アンゴラでの内戦に対応するアパルトヘイト政権の戦略でした。しかし、アンゴラ内戦が終息にむかった1990年2月に、核兵器の廃棄を決定します。そして、完全廃棄には、約1年半かかりました。

ブラジルも軍事政権時代にアルゼンチンとの対立から、核開発をすすめました。しかし、民主化されたブラジル政府は1988年にその中止を決定し、アルゼンチンと共同で核兵器開発の放棄を宣言します。ここでも、両国の緊張緩和が非核化への重要な要因となりました。

米朝首脳会談では、この「朝鮮半島の完全な非核化」と北朝鮮への「安全の保証を提供」を約束しました。とにかく非核化と平和を目標にスタートをきったわけですから、関係国、国際社会が、これをやりぬくためにサポートしていくことが必要です。

日本政府がなすべきこと

この点で日本政府に求められているのは、被爆国にふさわしい役割を発揮し、憲法9条を生かす外交を本格的にすすめることです。

非核化と安全保障の両方を実現するうえで、アメリカは北朝鮮にたいして核兵器の使用やその威嚇を行わないということが重要な点です。これは2005年9月の六カ国（南北米中ロ日）協議で、すでに合意した内容でもあります。しかし、日本政府は核攻撃を前提にしたアメリカの「核抑止力」＝「核の傘」に依存する傾向をつよめています。これを改め、「核の傘」から離脱し、核兵器禁止条約に署名、批准するならば、いまの流れを大きく後押しすることが出来ます。ちなみに「核の傘」からの離脱は、米軍基地の撤去や日米安保条約の解消以前にも可能な課題だということを指摘しておきたいと思います。

また、安倍政権は、「北朝鮮の脅威」を最大の根拠として、安保法制＝戦争法を強行し、沖縄・辺野古の米軍新基地建設、憲法9条の改定まですすめようとしています。その根拠が崩れていくわけですから、これまでの軍事的「抑止力」優先の安全保障政策を根本から見直す必要があります。朝鮮戦争を契機につくられた日米安保体制、在日米軍の駐留も、その原点から再検討されるべきです。

いまこそ、軍事力優先から、外交によって日本とアジアの平和と安全をつくる政策にシフトすることが、日本政府には求められています。

先にのべた六カ国協議では、朝鮮半島の非核化や米朝国交正常化とともに、平壤宣言に従った「不幸な過去」（日本の侵略戦争）の清算と「懸案事項」（拉致問題）解決を基礎にした、日朝の国交正常化、さらには、「北東アジア地域の永続的な平和と安定」のために共同で努力していくことを約束し、アジアの「安全保障協力を探求していく」ことで合意しました。これらは、関係国すべてが一度は合意したことから、今後の一つの基礎になりうるものです。

憲法9条を本格的に生かす外交を展開するならば、非核化と恒久的な平和の実現にとって大きな力になるでしょう。武力の行使やその威嚇を、紛争解決の手段としては「永久に放棄」した憲法をもつ日本政府が、北東アジアの平和環境、平和体制をどうつくるのか、そのことを積極的に発信していくことです。

市民と野党の共闘で

はじめた歴史的プロセスを成功させる根本的な力は、なによりも世論と運動です。

韓国の文在寅政大統領は昨年の国連総会でこう演説しました。「私たちは最も平和的で美しい方法で民主主義を成就しました（注、朴政権を倒した「ろうそく革命」）」「暴力よりも平和の力が世界をより大きく変えられることを証明しました」（17年9月21日）

韓国政府の平和イニシアチブの背景には、文政権を実現した市民の力があつたのです。私たちにもとめられているのは、市民と野党の共闘を発展させ、「アベ政治」を終わらせることです。

情勢が前進すれば、平和運動にも大きな変化が生まれるでしょう。「9条を守り、生かそう」「日本は核廃絶の先頭に」といった訴えが、これまで以上に、広い共感を呼びます。

目前に迫った原水爆禁止世界大会を成功させ、北東アジアの非核平和の動きを、世界に広げていくことを呼びかけたいと思います。

茨城県母親大会 in 大洗に参加して

6月10日あいにくの空模様を気にしながら、また会場近くで“しらす祭り”の情報に「さすが港町」と気をそそられながら参加しました。

まず、午前中「“日本と原発” “日本と再生” を視聴して東海第2原発再稼働についての討論」「漁食と日本人の健康、長寿について学ぶ」「百里基地を丸ごと学ぶ」など、大洗の特徴を出した分科会が人気でした。午後は八法亭みややっここと弁護士飯田美弥子さんによる落語風憲法断「歴史に学び未来を指向する日本国憲法」で大いに笑わせてもらいました。話の柱は2つ。まず現行の憲法がどのようにして生まれたのか、自由・民主・平和主義が先駆的でどれほど素晴らしいものかというお話です。前の大日本帝国憲法と現憲法を比較して、特に女性の人権が大きく前進したことを例えを交えておもしろく解説されました。前憲法は今で言ったらセクハラの嵐ですね。二つ目は自民党改憲

草案の問題点について。「公益および公の秩序」という文言で「みんなのためなんだから個人は我慢して」と言わんばかりの人権制約はとても不快です。立憲主義の否定であり非常に危険な考えだと思います。また平和主義についても「安全保障」という文言を使って国民の生命を守るために武装していこうという考えが見えてきます。アベさん得意の“ことばづかい”の丁寧さにペールで被われ中身の良く見えない草案となっています。国民が理解できないまま改憲に進むことは絶対阻止しなければ！

みややっこさんのテンポ良い話は時折自虐ネタと我々への皮肉を織り交ぜ、気づけば一時間半を超えていました。アベ政権が続くといつまでも忙しくてたまらないと訴えるみややっこさんに、笑って良いのか怒るべきか…。「無知・無関心は絶対ダメ。子どもに絶望感を残してはいけません」との言葉に、改憲反対の声を益々広めなければと確信しました。

（世話人HM）

ドキュメンタリー映画

ザ・思いやり パート2

～希望と行動 編～

2018年/日本/90分

在日米軍の駐留経費の多くを日本の国家予算で負担する。これを「思いやり予算」と称する。日米安保条約で米軍が日本を守ってくれるから？——このおかしな現実を、日本の厚木基地の近くに住む米国人、リラン・バクレー監督がユーモラスに描くドキュメンタリーの第2弾。

冒頭、沖縄国際大学の前泊博盛先生が、膨大な予算の一つ一つの項目を読み上げて、そろばんチームが合計額を計算する。なんと、7611億3千万円！さらに日本が米軍基地のためにタダで提供している国有地は、賃貸料・年間1658億円に相当。アメリカに買わされたオスプレイ17機、3700億円！年間1兆円が、米軍への支援に使われている。

米軍基地があるゆえの騒音、事故、犯罪…。住宅の移設（せざるを得ない）費用も、痛ましい事件（犯人は、日米地位協定で守られる）の賠償金も、誰が払っているのか…。

そんな「思いやり」に包まれた日本の米軍基地からは、爆撃機が中東まで飛んでシリアを空爆している。かつて

「憲法9条の会つくば」の活動



◆賛同人 2018年7月15日現在
総数 980名 (市内 710名)
 ◆3000万署名 7月15日現在 **3144筆**

インフォメーション

「戦争と平和を考える」—NHK 8月放送内容紹介

- 「広島 最後の問い～見えない謎と向き合った73年」
8月6日 22:00～
- 「ルソン決戦“最期”の記録～ある衛生兵が見た戦場」
8月11日 21:00～
- 「私たちは見捨てられた～戦争孤児たちの戦後史」
8月12日 21:00～
- 「隠された敗北～ノモンハン戦場の教訓」
8月15日 19:30～
- 特集ドラマ「夕風の街 桜の国 2018」
8月6日 19:30～

<ETV 特集>

- 『『赤い背中』が残したもの～『NAGASAKI』の波紋』
8月11日 23:00～
- 「隠された日本兵のトラウマ～陸軍病院戦争神経症 8000人の記録」
8月25日 23:00～

<BS1 スペシャル>

- 「“悪魔の兵器”はこうして誕生した～原爆開発・科学者3000人の『心の闇』
8月12日 22:00～



のベトナム戦争でも…。日本を守るため？ 民間人も犠牲にする戦争のため？

そして、私たちの税金で沖縄の自然と平和を破壊して、辺野古新基地が建設されようとしている。フェンスの向こうで若い米兵が繰り返し人を刺し殺す訓練をしているキャンプ・シュワブに、新たな滑走路と軍港が作られようとしている。普天間飛行場の「移設」ではなく、強大な侵略基地の「新設」である。

バクレー監督は、日本各地の米軍基地を映し出しながら、市民や時に米兵にもインタビューを繰り返す。私たちの町に、戦争に直結する「基地」は必要なのか？ 米軍への「思いやり」と被災者への「思いやり」は、どちらが必要なのか？…

それらの答えは、“事実”を知ることによって、自ら明らかになるのではないのでしょうか。この映画は、その“事実”をわかりやすく解明してくれます。

*「パート3 ～くらし・環境・安全編～」も企画中です。制作へのカンパを募っています。（後藤）

行動予定

- 7月21日(土) 世話人会 13:30～ 13周年記念のつどい第1回実行委員会 15:00～並木交流センター 結 82号発行
- 7月29日(日) 3000万署名オール茨城交流会 講演・高田健氏 13:30～茨城県歴史館(水戸)
- 8月3日(金) アベ政治を許さないスタンディング つくば駅A3出口 13:00～ 3000万署名 13:30～
- 8月9日(木) 9の日署名 17:00～18:00 キュート前(ドーナツ店付近)
- 8月18日(土) 事務局会 10:00～市民活動センター
- 8月19日(日) 定例署名 17:00～18:00 キュート前(ドーナツ店付近)
- 9月3日(月) アベ政治を許さないスタンディング つくば駅A3出口 13時～
- 9月8日(土) 結 83号発行
- 9月9日(日) 9の日署名 17:00～18:00 キュート前(ドーナツ店付近)
- 9月15日(土) 世話人会 13:30～並木交流センター